

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和03年03月31日

事業所名 放課後等デイサービスegg

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%		定員に対して適切な広さであり、活動によって異なるスペースを確保できるよう、パーテーションや床の色で色分けしている。ロフトがある為、空間を活かし、楽しく活動したり、発散できるようにしている。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	0%		看護師・保育士・介護福祉士・教員等、経験を重ねた職員達が在籍し、資格や経験を活かした関わりができています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	0%		ワンフロアで仕切りがなく、小さな児童さんも安全に過ごしている。外にはスロープがある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%		毎日のミーティングと定期的な会議で、活動の振り返りを行い、児童の変化、成長を情報共有している。また、計画に基づいた振り返りを行う為、各児童、週に1回は記録として残している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%		アンケート結果を受け、職員間で情報共有し、今後の活動や方向性について話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%		事業所内の入り口に掲示し、ホームページのお知らせの項目からいつでも見る事ができるようにしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	29%	29%	43%		第三者による外部評価はおこなっていない。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	71%	0%	29%		月に1度、社内研修を行い、スキルアップを図っている。外部の研修には、時間が取れず、参加できていないが、体制作りができれば、積極的に参加していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%		定期的に面談を実施し、保護者との話を踏まえた上で、計画の原案をもってスタッフ間で話し合い、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	71%	14%	14%		それぞれの児童たちの興味、関心を持っている物事はほとんど追求させながら、様々な事に興味を持ち、深めていく事ができるように関わっている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%		予め、子どもたちの特性に合ったプログラムをスタッフ間で話し合い、その日の利用状況をみて、当日の活動内容を決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%		同じ活動が続かないように、利用者の要望も聞きながら、静と動の活動の差を作っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	86%	14%	0%		平日は利用時間が短い為、室内活動と戸外活動を行うチームに分かれている。休日は外出するチームを2つに分け、目的をもって、様々な体験ができるようにしている。長期休暇中は午前中は主に室内で自由に、午後からは室内と戸外に分かれ、長期休暇で立てた目標に応じた活動を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	43%		一人ひとりの特性や本人達の取り巻く環境、課題、目標を十分に把握し、個々への対応を決め、細やかに配慮し、作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%		毎日必ずミーティングを行い、その日に必要な支援を細やかに打ち合わせを行っている。また、その日の役割担当、送迎の確認をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%		活動記録用紙を記入する時等は活動が別だった職員の様子を聞いて、情報を交換している。当日の様子を振り返り、今後の支援に活かし繋げる事ができるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		活動記録用紙を残し、事業所控室も作っている。それを基に、今後の支援へと活かしている。記録のもれがないよう、担当を決め、日々管理している。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	86%	0%	14%		定期的に保護者に事業所に足を運んでもらい、モニタリングを実施している。その都度、話し合いの内容や結果を職員間で情報共有し、活動、関わりに活かしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	71%	0%	29%		児童一人ひとりの特性に合わせて活動プログラムを組んでおり、個々に必要な支援を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	86%	0%	14%	参画している。担当者会議で話し合った内容や結果はその都度職員間で把握し、より必要な支援を提供できるようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	86%	0%	14%	いつでも学校、保護者を連絡がとれるようにし、何かあった時は早急に連絡を取り合っている。下校時間については、保護者から直接聞き、対応している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	43%	29%	29%	医療的ケアが必要な子どもの受け入れは今の所ありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	71%	0%	29%	利用が決まってから、児童発達支援事業所等から情報提供をしてもらっている。利用開始後、事業所での過ごし方などを電話等で情報共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	57%	15%	29%	障がい福祉サービス事業所等から、情報提供の依頼があれば、積極的に伝えていく。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	57%	15%	29%	専門機関などからの助言や研修を受けたいと思っている。受ける事のできる環境が整ったら、積極的に参加していこうと思う。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	57%	29%	14%	休日、長期休暇時は外出する事が多いので、出かけ先で交流できる事が多い。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	29%	15%	43%	地域自立支援協議会等からのお誘いがあれば、積極的に参加していきたい。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	86%	0%	14%	送迎時にその日の様子や些細な気づきを伝え、保護者が気になる事があれば、聞いている。家庭での様子も聞きながら、密な情報共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	71%	0%	14%	保護者と直接話す時は保護者の気持ちや悩みをくみとりながら、「こんな支援をしたら、こんな事ができていました」等の話し方をして伝えている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	86%	0%	14%	契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	86%	0%	14%	定期的に行っているモニタリング時、送迎時、電話にて相談があれば、助言するようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	29%	52%	14%	それぞれが生活スタイルが異なるので、実現する事は難しい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	開設以来、苦情はない。保護者との思い違いが生じないよう、日々、活動用紙の記録、送迎時や電話で情報共有している。保護者から相談の電話等あった際は、毎日のミーティングにて内容を職員間で共有している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	月に1度月末にegg通信を保護者に配布していた。今年1月からは、ホームページに掲載するようにしたため、事前に保護者にはその旨をプリントでお知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	利用者の個人情報は事務所内倉庫で管理し、十分に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	保護者の方から24時間いつでも連絡がとれるように、事務所不在時は携帯電話へ転送できるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	43%	57%	0%	地域住民を招待するなどの事業運営は現在、行っていない。参考となる資料等あれば、事業所としても行ってみたい。	

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	71%	14%	14%	職員はいつでも見る事ができるよう、書棚に置いている。保護者の方たちには、マニュアルがある事を契約時に伝えていくようにしていく。子どもたちには、分かりやすいよう、緊急時にとるべき行動を模造紙に書き起こし、目につく所に張り出している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	年に2回実施している。災害の多い時代なので、様々な災害シーンを踏まえ、災害時にとるべき行動や、避難先を変える等の訓練をしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	86%	0%	14%	虐待をする事はないので、今まで研修をしたことがない。そのような事例があるという事に対して、知る為の研修は今後実施していきたい。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	71%	14%	14%	身体拘束を行うような、行動に問題のある子どもの利用がないので、計画は立てた事がない。少しの行動に問題がある子どもに対しては、まず環境に慣れる為に何をすればいいかをしっかり考え、その子どもが落ち着いて過ごす事ができるように努めている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	86%	0%	14%	食物アレルギーのある子については、予め保護者から聞き、対応している。昼食が必要な時は、基本的に弁当持参なので、しっかりとした対応はしていない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	86%	0%	14%	目立ったヒヤリハットはないので、事例集の作成はしていないが、予め対応できるように、子どもの特性などを職員間で把握し、未然に防いでいる。	